



【6月5日：6・5島根県民大集会 くにびきメッセ】

**みんなの力で政治を変えよう！**  
**6・5島根県民大集会に1千人超結集！**

昨日（五日）、「明日を決めるのは私たち」政治を変えよう！6・5島根県民大集会」がくにびきメッセで開かれ、県内から一千人を超える人が参加し、会場カンパも四〇万円が集まりました。

集会の基調講演でフォトジャーナリストの志葉玲さんは、イラクなどの戦場で起こっている出来事を示しながら戦争の恐ろしさを訴え、日本が加害国になる危うさの中で、民主主義と平和憲法を取り戻し守ることの大切さを語りました。

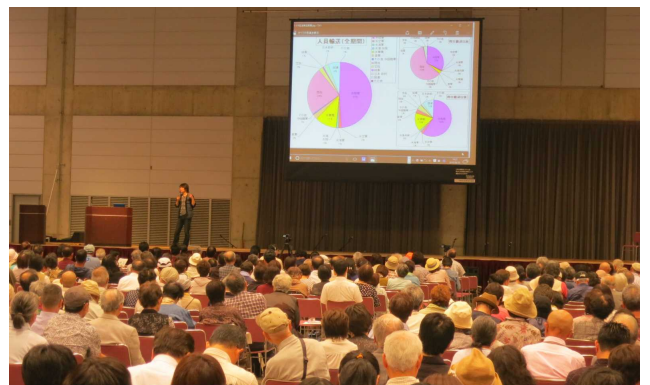
続いて、宗教者、弁護士、労働組合、市民、野党三党によるリレートークで戦争法廃止や参議院選挙への思いを訴えました。集会では、鳥取島根合区の野党統一候補の福島浩彦さんが決意表明されました。

集会後は中国労金松江支店前までデモ行進し、「みんなの力で政治を変えよう！」「みんなの力で安保法廃止！」「選挙に行こう！」などコールし、市民に大きくアピールしました。



鳥取・島根合区予定候補 福島浩彦さん

立憲主義回復のために必要なことは、これからさらにたくさんの人と対話をしていくことだと思う。日本は、集団的自衛権を行使して、日本が攻撃されていないのにわざわざ海外に出て戦争することは絶対にしない。だから日本は平和国家として信頼されてきた。日本は、国際社会で、平和国家としてきちんとするべきことを言うことが、私達の安全につながる。戦前の空気と同じように、批判的なことは言えない社会になる恐れも、寸前まで来ている。憲法というのは、まずは先に私達がいるということが大事。自民党の改憲草案は、まず国があって、その下に国民がある。国が国民を縛る、戦前の憲法である。自民党に改憲させるのはどうしても止めたい。そのために先頭に立って頑張る決意です。



【基調講演 志葉玲さん・フォトジャーナリスト】



◆憲法は、70年間私とともにあり、私を育ててきました。自民党改憲草案は、恐ろしいの一言です。それだけは勘弁してほしい。その思いだけでここに来ています。(MT)

◆原発も戦争も始まったら最後です。再稼働反対、戦争反対!! 子どもたちの幸せな未来のため!! (MU)

◆次の世代に平和な世の中をリレーすることこそが“今”を生きる私達オトナの役割だと思っています。“ヒロシマ”“ナガサキ”を経験している日本が世界でとるべき立場を考えなければならないと思います。憲法は我々一人一人の権利で、それを換えられようとしている現実に、心から憤りを感じています。(YF)



◆次世代の世の中にも、同じ様に平和で、夢に向かって進む自由を守りたいと思います。過去の過ちを忘れない日本であり続けることを、これからも、大事にしていきたいと思います。(KY)

◆はじめての野党共闘の輪。もっともっと大きく広がっていきましょう。(KT)

